

マガレット一家

たっちゃんの 紙芝居ザベスト

「知ってても笑えるクラシック作品から、ハラハラドキドキの最新作品まで、当日の演目リストを皆さんと相談して決めます♪」

願わくば、
世界中を
笑顔にしたい。



たっちゃん(川上竜生)
熱血紙芝居師
劇団うりんこ出身

ニッポン全国
街頭紙芝居大会
in めまづ

三連覇!!!
(第3・4・5回大会)



【演目】 ●言葉あそびの紙芝居 ●わらべうたの紙芝居 ●昔話の紙芝居 ●まちがえておぼえちゃった歌の紙芝居 ●なぞなぞなのだぞ！ など

「頂いた感想より」
私が「たっちゃんの紙芝居」と出会ったのは、2010年夏、福島県喜多方市で行われた喜多方21世紀シアターに下見に行かせてもらったときでした。ホールロビーで、ほんの一枚だけひいてあるござの前に、一台の自転車が置いてあり、(ほんとにただの紙芝居なんだな〜)と最初はほとんど期待せず、時間つぶし程度に・・・と思って片手間に観劇した、そんな出会いでした。その後、私がどんな状態に陥ったか、「たっちゃんの紙芝居」を観た人には想像に難くないでしょう。次の日も喜多方にいる間追っかけをして、たっちゃんの公演を、3回は観たと思います。その時は正直、たっちゃんのあの芸に、上質の生の舞台芸術という言葉があてはまるかどうかは不安でしたが(今ではいろんな意味で当てはまると思っていますが)とにかく強く思いました。一人でも多くたっちゃんごと川上竜生さんに出会って欲しい!と。皆さんもたっちゃんの紙芝居の会場にいると、とても居心地がよかったです。たっちゃんの、子ども達の言葉に「OK!」「いいね!」「そうね、それもあるね」と徹底的に受け入れるやり取り。あんなに身体をはって「あなたはそのままいい」というメッセージを送り続けるたっちゃん。たっちゃんの芝居を通じて子ども達に力いっぱい届けてくれるメッセージに感動でした。一緒に聞いている誰もが、そんな社会になったらこんなに気持ちがいい、ということを感じてくれたことと思います。さっと参加してくれたお父さんやお母さんは、その後子ども達の声に耳をかたむけてくれたことでしょう。(後略)